雪下ろし作業計画書

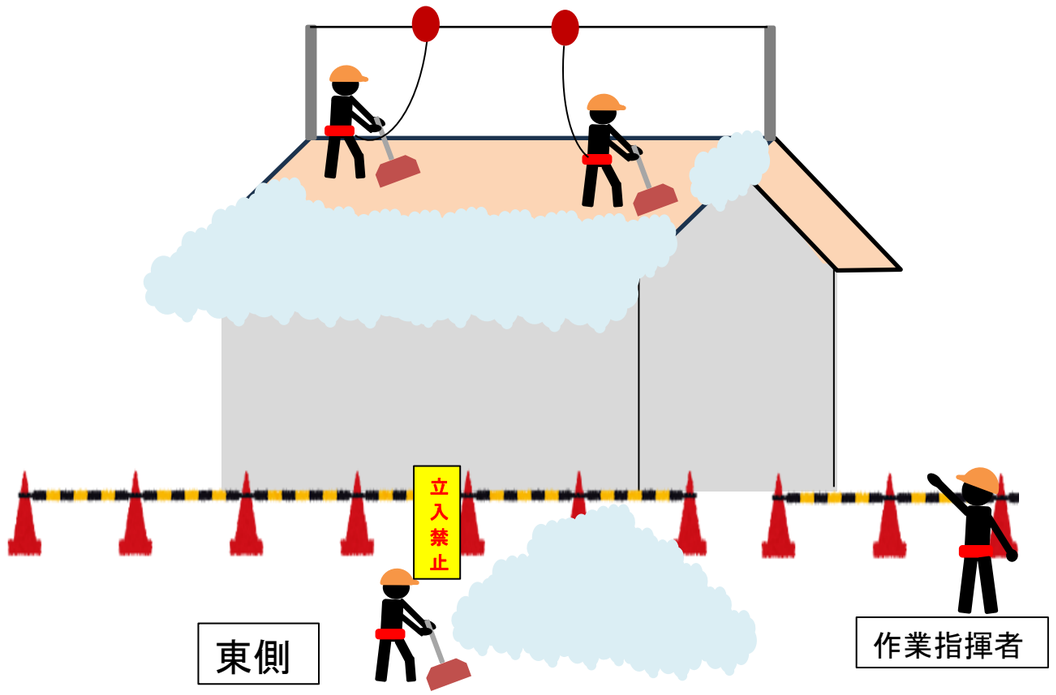
現場名　〇〇様宅雪下ろし

〇〇年　〇月　〇日

作業名	〇〇様宅屋根雪下ろし		事業者	〇〇建設	作成者	安全　一郎		
使用機械（資材等）	種類	親綱	墜落制止用器具		安全ブロック	ロリップ（伸縮調節器）		
	数量	1	3		3			
	種類	はしご	スコップ		スノーダンプ			
	数量	2	3		3			
		固定方法（　　）						
作業期間	〇〇年　〇月　〇日　～　〇〇年　〇月　〇日							
選任・指名	責任者	安全　一郎 携帯電話（　080-1234-5678　）			作業者	作業員3人（責任者を除く）		
合図方法	（笛）・（無線）・携帯電話				合図者	（責任者）・その他（　　）		
立入禁止措置	・監視人（　1　人）・バリケード　・トラロープ　（・カラーコーン）							
作業場所	場所	〇〇様宅屋上						
	地形	・平坦　（・勾配）　20　）度　・段差地　・作業面　（広い）　（狭い）　雪止（あり・なし・不明）						
天候	午前	晴のち曇り　予想最高気温　5 ℃　予想最低気温　0 ℃						
	午後	曇り　予想最高気温　6 ℃　予想最低気温　2 ℃						
作業方法内容	・ 切妻屋根の雪下ろし作業。作業員3名のうち2名が屋根上で作業する。							
	・ 事前に調査した雪止め及び親綱支柱を設置し親綱を張り、その親綱に墜落制止用器具を接続する。							
	・ 東側に雪を落とす場合には作業指揮者と連携を図りながらカラーコーンで立入禁止区域を設け作業を行う。							
	・ 屋根の軒下より1ｍ以内は立入禁止とする。							
安全対策	・屋根上の作業者はヘルメット（墜落時保護用）と墜落制止用器具を装着する。墜落制止用器具は確実に親綱と接続する。保護具は作業前点検により状態の確認を行う。							
	・強風等で危険な場合は作業を中止する。気温が高い場合も雪の滑落の恐れがあるため作業中止とする。							
指導事項	・作業手順や作業員の配置を事前に確実に作業員に周知すること。							
	・使用するヘルメットや墜落制止用器具、安全ブロックを事前に用意しておくこと。							
	・作業開始前は、保護具のチェックや危険予知活動を行い、作業者の体調も確認すること。							

配　置　図（作業場所全体を示す平面図）

作業範囲、カラーコーンによるバリケード設置、合図者等



作業計画チェック表　※☑して安全に作業しましょう	
計画中のチェック項目（①③④は決めること）	作業開始前のチェック項目（大丈夫の状態で作業開始）
①　親綱を取り付ける場所は? □決めた　□決めてない	①　墜落制止用器具やヘルメットなど保護具の数は？ □大丈夫　□　足りない
②　墜落制止用器具の接続方法は? □親綱　□安全ブロック　□その他	②　天候は確認していますか?（悪天候・暖気では？） □大丈夫　□していない
③　はしごの場所・固定方法は? □決めた　□決めてない	③　作業計画を作業員に周知しましたか? □大丈夫　□していない
④　雪下ろし箇所の立入り禁止区域措置は? □決めた　□決めてない	④　体調の悪い作業員はいませんか？ □大丈夫　□確認していない

社長（代表）	課長（作業者）	作業責任者